

交付運用報告書

好配当グローバルREITプレミアム・ファンド 通貨セレクトコース 〈愛称〉 トリプルストラテジー

追加型投信／内外／不動産投信

作成対象期間（2016年12月20日～2017年6月19日）

第48期（決算日 2017年1月18日）	第49期（決算日 2017年2月20日）
第50期（決算日 2017年3月21日）	第51期（決算日 2017年4月18日）
第52期（決算日 2017年5月18日）	第53期（決算日 2017年6月19日）

受益者のみなさまへ

第53期末（2017年6月19日）	
基準価額	3,183円
純資産総額	71,123百万円
第48期～第53期 （2016年12月20日～2017年6月19日）	
騰落率※	6.3%
期中分配金合計	300円

※騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「好配当グローバルREITプレミアム・ファンド 通貨セレクトコース」は、このたび第53期の決算を行いました。

当ファンドは、日本を含む世界各国のREIT等を実質的な主要投資対象とし、さらに「REITプレミアム（カバードコール）戦略」の活用および6通貨の為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）の獲得を目指すことにより、インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

〈運用報告書（全体版）の閲覧方法〉

右記URLにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル

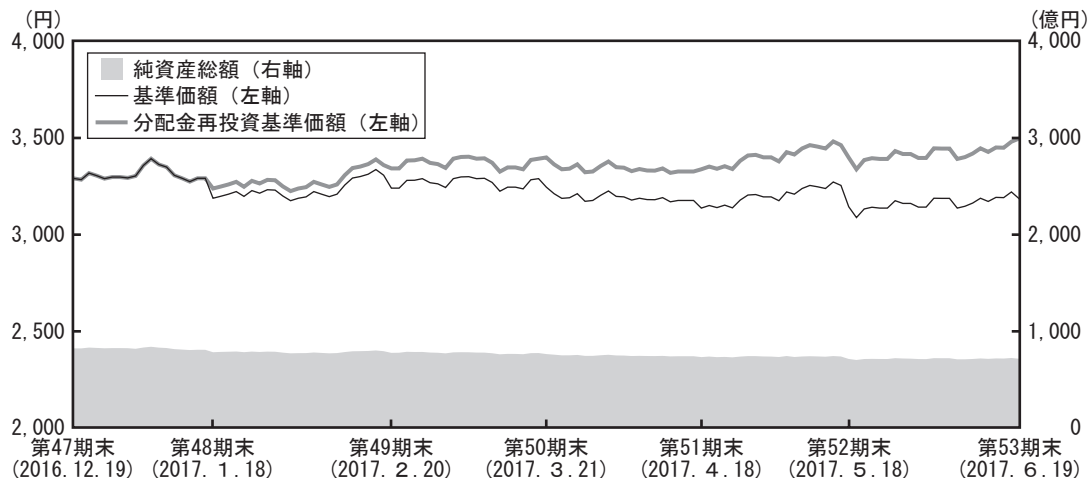
URL  <http://www.sjnk-am.co.jp/>

お問い合わせ先

TEL  クライアントサービス第二部 0120-69-5432
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

運用経過

■ 基準価額の推移



第48期首：3,288円

第53期末：3,183円（期中分配金合計300円）

騰落率：6.3%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額の推移は、2016年12月19日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currencyへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■ 基準価額の変動要因

(好配当グローバルREITプレミアム・ファンド 通貨セレクトコース)

主要投資対象である「UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currency」が上昇したことから、当期の分配金再投資基準価額も上昇しました。

(UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currency)

保有していたREIT等の価格上昇がプラスに寄与しました。

為替取引においては、相対的に金利水準が高く、成長性が高いと考えられる通貨（インドルピー、インドネシアルピア、ブラジルリアル、南アフリカランド、トルコリラ、オフショア人民元、メキシコペソ）を購入し、プレミアムの獲得を目指しました。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第48期～第53期		項目の概要
	(2016年12月20日～2017年6月19日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	15円	0.471%	(a) 信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は3,224円です。
（投信会社）	（6）	（0.188）	ファンドの運用の対価
（販売会社）	（9）	（0.268）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（0）	（0.015）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.000	(b) その他費用＝ $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	（0）	（0.000）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	（0）	（0.000）	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	（0）	（0.000）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	15	0.471	

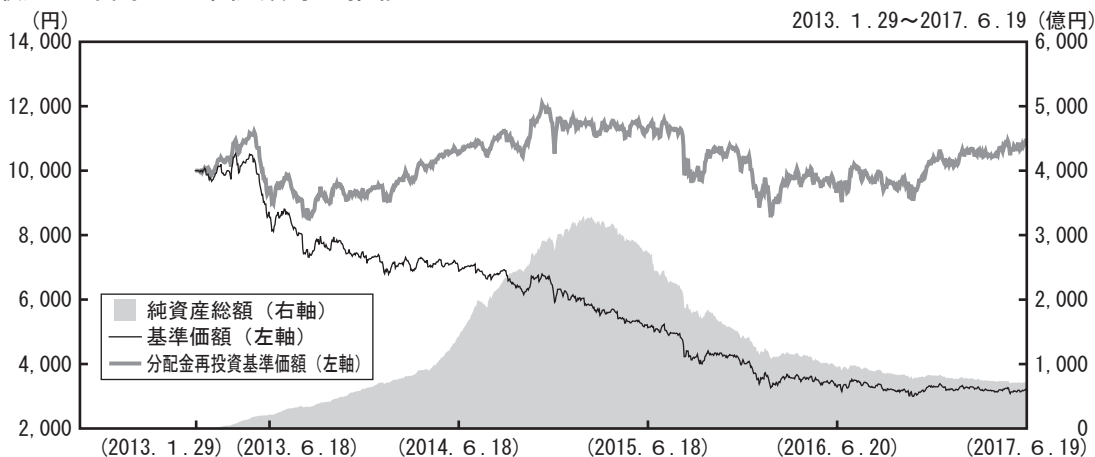
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

■最近5年間の基準価額等の推移



- ・分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currencyへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

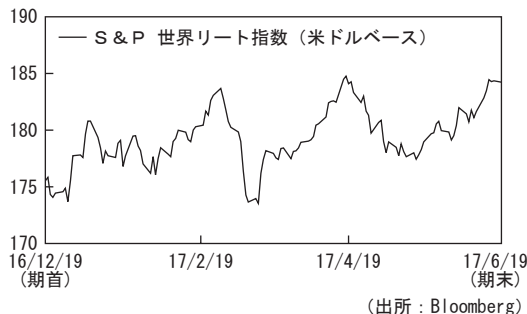
決算日		2013年1月29日 設定時	2013年6月18日 決算日	2014年6月18日 決算日	2015年6月18日 決算日	2016年6月20日 決算日	2017年6月19日 決算日
基準価額	(円)	10,000	8,549	6,883	5,126	3,290	3,183
期中分配金合計 (税引前)	(円)	—	1,000	2,400	2,250	1,050	600
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	△ 5.3	11.2	7.8	△ 17.0	16.5
純資産総額	(百万円)	139	21,321	142,203	271,533	94,587	71,123

■投資環境

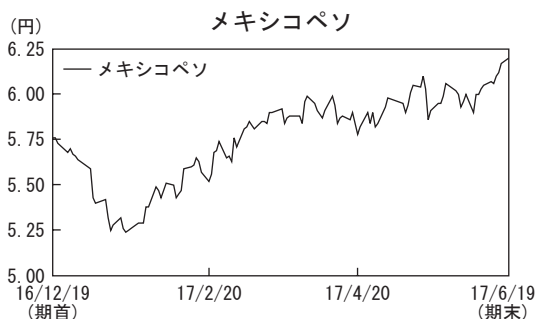
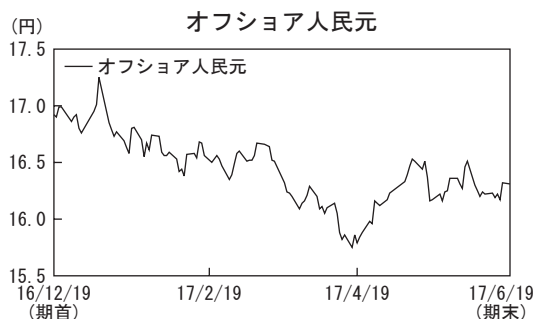
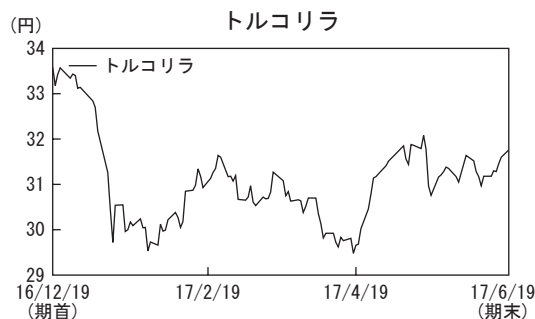
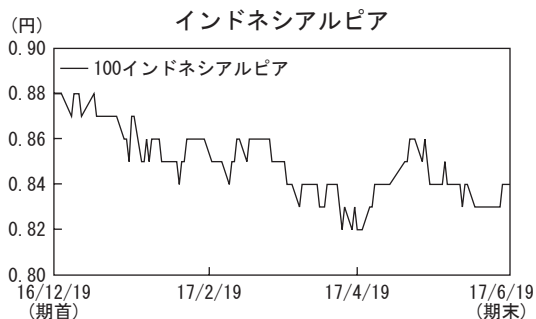
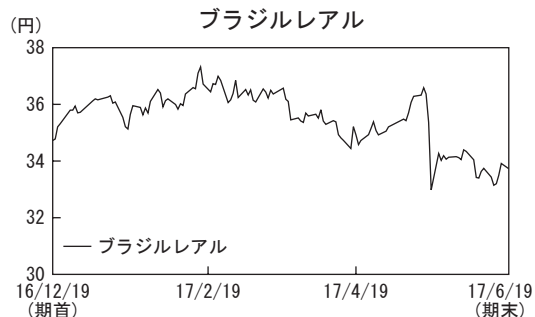
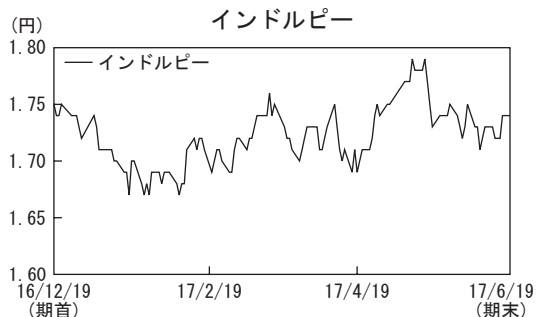
グローバルREIT市場は、欧米で堅調な経済指標が発表されたこと、トランプ米大統領が大規模インフラ投資の実施を示唆したこと等を好感し、期初から2月末にかけて上昇基調で推移しました。3月に入ると、FOMC（米連邦公開市場委員会）を控えた警戒感から長期金利が上昇し、REIT市場は下落しました。15日のFOMCでは利上げが決定されたものの、その後の利上げペースが引き続き慎重なものになるとの見通しが広がったことに加えて、トランプ政権による経済政策への期待感から、再び上昇しました。4月後半以降、1～3月期の米GDP成長率が前四半期から大きく減速したことや、大手百貨店をはじめとした小売業者の収益性悪化による商業型REITセクターの業績への悪影響が意識されたことなどから下落しました。しかし、5月後半からは長期金利が低下する中、REIT市場は反発して当期を終えました。

為替市場は、トルコリラやインドネシアルピアなどの選択通貨が円に対して下落しました。

参考REIT指数の推移



為替レートの推移 (対円)



(出所：Bloombergおよび投資信託協会)

(注1) 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。
 (注2) 当期末時点で保有している通貨について表示しております。

■当該投資信託のポートフォリオ

「UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currency」への投資比率は期中を通じ高位に保ちました。期末の組入比率は95.9%でした。

(UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currency)

当ファンドは、世界のREIT、不動産関連企業の中から相対的に利回りが高いと考えられる銘柄を厳選して投資を行いました。また、REITのカバードコール戦略の活用により、オプションのプレミアム収入の獲得を目指し、ファンドのトータルリターンの上を目指しました。

為替取引においては相対的に金利水準が高く、成長性が高いと考えられる通貨（インドルピー、インドネシアルピア、ブラジルレアル、南アフリカランド、トルコリラ、オフショア人民元、メキシコペソ）を購入し、プレミアムの獲得を目指しました。なお、5月初に南アフリカランドからメキシコペソへの入れ替えを行いました。

(損保ジャパン日本債券マザーファンド)

金利戦略は、景況感改善のもと、期初より超長期ゾーンをアンダーウェイトするショートデュレーションを基本戦略としました。5月以降は、超長期ゾーンを小幅オーバーウェイトするロングデュレーション戦略に変更しました。債券種別戦略は、非国債のオーバーウェイトを継続しました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currencyへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■分配金

収益分配金については、収益分配方針に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、合計300円の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

<分配原資の内訳>

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
	2016年12月20日 ～2017年1月18日	2017年1月19日 ～2017年2月20日	2017年2月21日 ～2017年3月21日	2017年3月22日 ～2017年4月18日	2017年4月19日 ～2017年5月18日	2017年5月19日 ～2017年6月19日
当期分配金	50	50	50	50	50	50
(対基準価額比率)	1.55%	1.52%	1.52%	1.57%	1.57%	1.55%
当期の収益	49	50	49	49	50	50
当期の収益以外	0	—	0	0	—	—
翌期繰越分配対象額	1,724	1,726	1,726	1,726	1,726	1,727

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税引前)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■今後の運用方針

(好配当グローバルREITプレミアム・ファンド 通貨セレクトコース)

「UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currency」および「損保ジャパン日本債券マザーファンド」を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。

(UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currency)

主として、日本を含む世界各国の取引所に上場されている相対的に利回りが高いと判断されるREIT及び不動産関連の株式等を実質的な主要投資対象とし、相対的に高い配当収入等の確保と信託財産の成長を図ることを目指します。また、カバードコール戦略の活用により、オプションのプレミアム収入の獲得を目指します。

加えて、原則、相対的に金利水準が高く、成長性が高いと考えられる通貨の為替取引を行い、為替取引によるプレミアムの獲得を目指します。

(損保ジャパン日本債券マザーファンド)

金利戦略については、相場環境に応じてカーブ戦略を中心に機動的に変更する方針です。債券種別戦略については、現在の非国債をオーバーウェイトする戦略を継続します。

■お知らせ

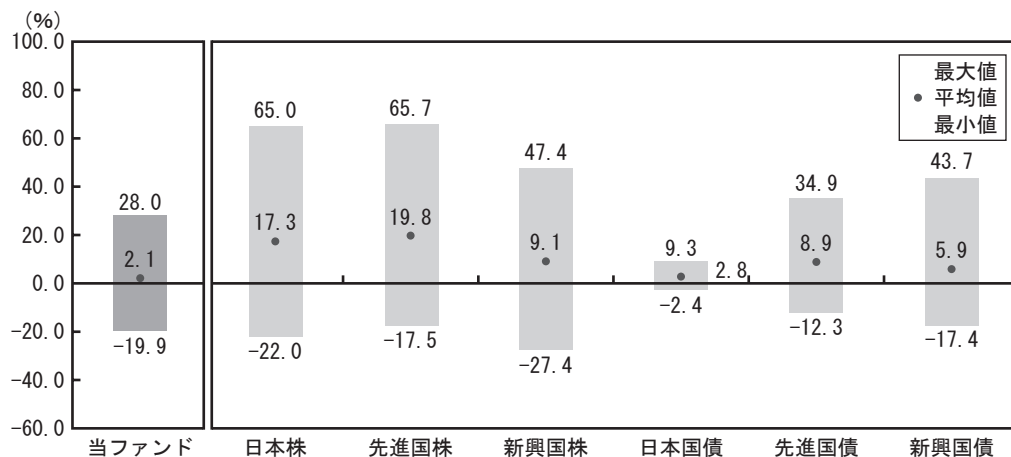
○信託期間を5年間延長し、信託期間終了日を2017年12月18日から2022年12月16日に変更するため、投資信託約款に所要の変更を致しました（2017年3月18日）。

■当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信	
信託期間	2013年1月29日から2022年12月16日まで	
運用方針	インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。	
主要投資対象	好配当グローバルREIT プレミアム・ファンド 通貨セレクトコース	投資信託証券
	UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currency	日本を含む世界各国の取引所に上場されているREIT (不動産投資信託証券)及び不動産関連の株式等 ※投資顧問会社 UBPインベストメンツ ※副投資顧問会社 ・TCW インベストメント マネジメント カンパニー ・ユニオン バンケール プリヴェ ユービーピー エスエー
	損保ジャパン日本債券 マザーファンド	日本の公社債
運用方法	<p>①日本を含む世界各国の取引所に上場されている相対的に利回りが高いと判断されるREIT（リート、不動産投資信託証券）及び不動産関連の株式等を実質的な主要投資対象とし、相対的に高い配当収入等の確保と信託財産の成長を図ることを目指します。</p> <p>②「REITプレミアム（カバードコール）戦略」の活用により、オプションのプレミアム収入の獲得を目指し、ファンドのトータルリターンの上を目指します。</p> <p>③原則、相対的に金利水準が高く、成長性が高いと考えられる6通貨の為替取引を行い、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）の獲得を目指します。</p>	
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>	

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

※当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご注意ください。



期間：当ファンド 2014年1月～2017年5月
代表的な資産クラス 2012年6月～2017年5月

* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

- ・当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

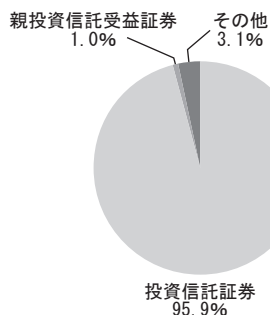
※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

○組入ファンド

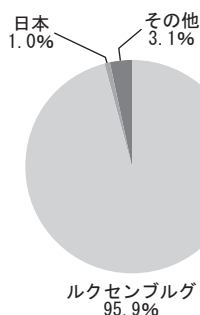
	第53期末
	2017年6月19日
UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currency	95.9%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	1.0%

(注) 比率は第53期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は第53期末における純資産総額に対する評価額の割合です。資産別配分および国別配分のその他には、現金等が含まれます。

■純資産等

項目	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末	第53期末
	2017年1月18日	2017年2月20日	2017年3月21日	2017年4月18日	2017年5月18日	2017年6月19日
純資産総額	77,870,791,481円	77,234,123,517円	75,975,688,038円	72,820,618,677円	70,930,322,557円	71,123,582,394円
受益権総口数	244,377,924,017口	238,516,374,996口	234,247,689,861口	232,315,541,750口	225,734,800,435口	223,440,933,230口
1万口当たり基準価額	3,186円	3,238円	3,243円	3,135円	3,142円	3,183円

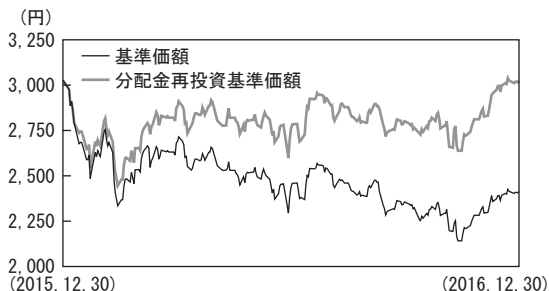
※当作成期間（第48期～第53期）中における追加設定元本額は7,502,398,674円、同解約元本額は33,070,708,760円です。

■組入上位ファンドの概要

※組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過および全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREMIUM Multi-Currency>

○基準価額の推移



- ・基準価額は、好配当グローバルREITプレミアム・ファンド通貨セレクトコースの基準価額算出に用いた価額（算出日の前日（海外）の価額）を表示しています。
- ・分配金再投資基準価額は、2015年12月30日の基準価額に合わせて指数化しています。

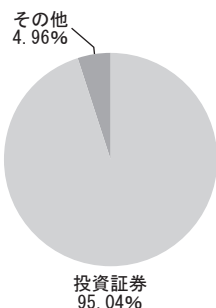
○組入上位10銘柄

	銘柄名	通貨	業種	比率
1	SIMON PROPERTY GROUP INC	米ドル	店舗用REIT	5.3%
2	WELLTOWER INC	米ドル	ヘルスケアREIT	4.4%
3	VENTAS INC	米ドル	ヘルスケアREIT	4.1%
4	AVALONBAY COMMUNITIES INC	米ドル	住宅用REIT	4.1%
5	UNIBAIL-RODAMCO SE	ユーロ	店舗用REIT	3.2%
6	TOLL BROTHERS INC	米ドル	住宅建設	3.2%
7	HOST HOTELS & RESORTS INC	米ドル	ホテル・リゾートREIT	3.1%
8	PROLOGIS INC	米ドル	工業用REIT	3.1%
9	EQUINIX INC	米ドル	専門REIT	3.1%
10	COLONY CAPITAL INC	米ドル	モーゲージREIT	3.0%
組入銘柄数			39銘柄	

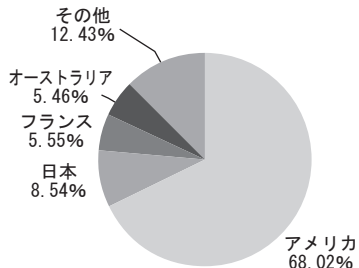
○1万口当たりの費用明細

当該期間（2016年1月1日～2016年12月31日）の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

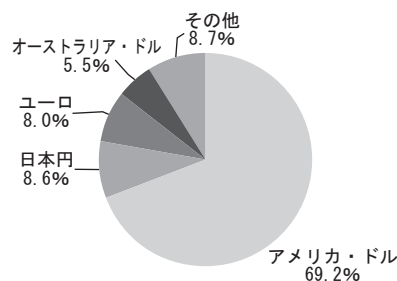
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



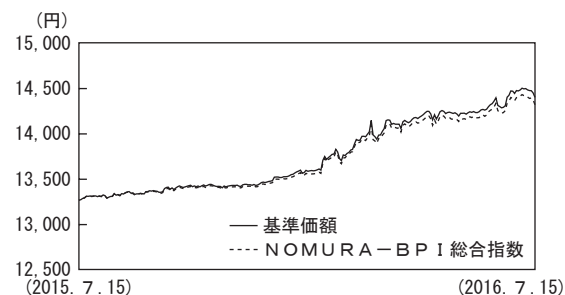
(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの決算日（2016年12月31日）現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。その他には、現金等が含まれます。

(注3) 組入上位10銘柄および通貨別配分は、UBPインベストメントおよびTCWインベストメントマネジメントカンパニー、ユニオンバンクケルプブリヴェュービーピーエスエーが作成したデータを掲載しています。資産別配分および国別配分は、組入ファンドの財務諸表より、委託会社が翻訳作成したものです。

<損保ジャパン日本債券マザーファンド>

○基準価額の推移



・ベンチマーク（NOMURA-BPI 総合指数）の推移は、2015年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

○組入上位10銘柄

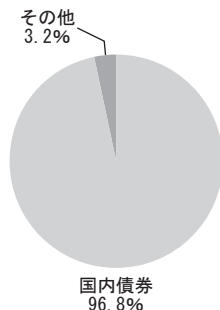
	銘柄名	債券種類	償還日	比率
1	365 2年国債	国債証券	2018/6/15	12.6%
2	342 10年国債	国債証券	2026/3/20	5.2%
3	341 10年国債	国債証券	2025/12/20	5.0%
4	157 20年国債	国債証券	2036/6/20	4.9%
5	363 2年国債	国債証券	2018/4/15	4.9%
6	152 20年国債	国債証券	2035/3/20	4.5%
7	151 20年国債	国債証券	2034/12/20	4.5%
8	156 20年国債	国債証券	2036/3/20	4.1%
9	100 20年国債	国債証券	2028/3/20	2.9%
10	150 20年国債	国債証券	2034/9/20	2.8%
組入銘柄数			64銘柄	

○1万口当たりの費用明細

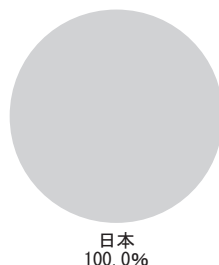
(2015年7月16日～2016年7月15日)

項目	
その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については2ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2016年7月15日）現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■ 指数に関して

○ 「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時 (1968年1月4日終値) の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数 (TOPIX) は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース) は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、米ドルベース) をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI 国債

野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。また、Citigroup Index LLCは同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

J.P. Morgan Global EM グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。



損保ジャパン日本興亜
アセットマネジメント